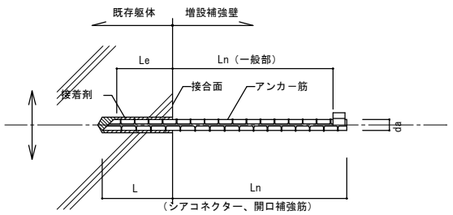
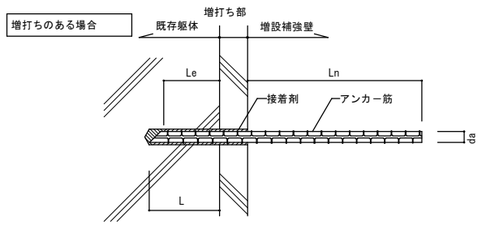
あと施工アンカー要領

(1) 接着系アンカー



（シアコネクター、開口補強筋）



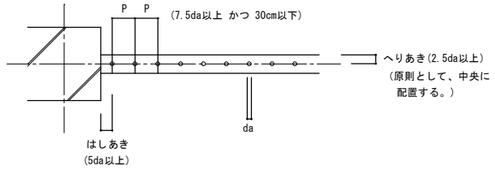
L ： コンクリートの穿孔深さ
Le ： アンカーの有効埋め込み長さ
Ln ： 有効埋め込み長さ・定着長さ
da ： アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

穿孔深さ全長に接着剤を充填する。

アンカー関係共通事項		
接着系アンカーの有効	埋め込み長さ	一般部 : Le =7da シアコネクター : Le =7da 開口補強筋 : Le =12da 以上
接着系アンカーの有効	定着長さ	一般部 : Ln =20da シアコネクター : Ln =増打壁厚－かぶり厚 開口補強筋 : Ln =L1＋50 (=補強筋との継手長さ＋余長)
アンカー筋形状		一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が２山以上でること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は45¥U+FF9Fカットとする.

施工確認試験荷重			
アンカー筋呼び名(da)	せん断耐力 (kN)	引張耐力 (kN)	確認強度 (kN)
D13(SD295A)	26	27	18
D16(SD295A)	41	35	23
D19(SD295A)	59	43	29

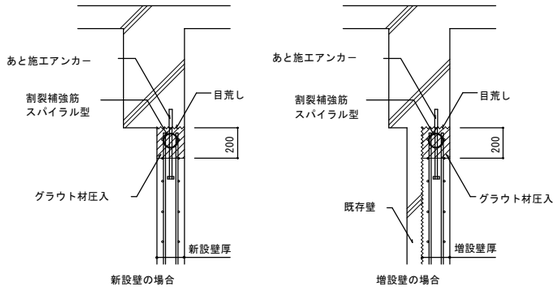
(2) あと施工アンカーの位置と間隔



ＲＣ壁補強

新設・増設壁上部グラウト要領

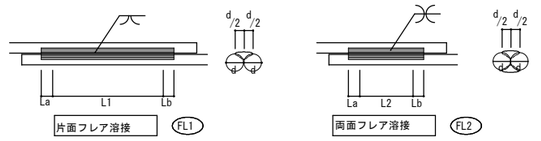
1. 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。



鉄筋フレア溶接要領

1．特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。

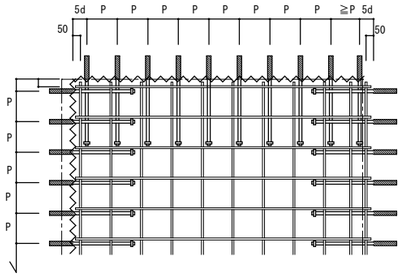
2．鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(La)及び、クレーター(Lb)を除いた部分の長さとし、寸法は下表による．但し、La 及び Lbは 1d以上とする．



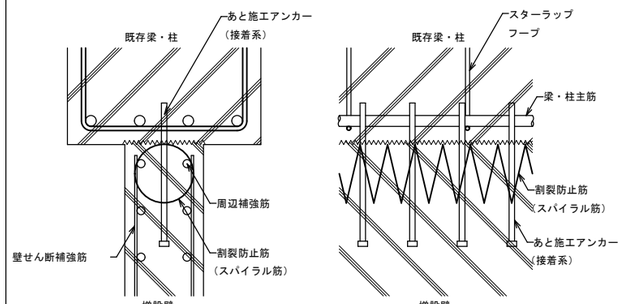
鉄筋径	L1	L2	d
9φ・D10	100	50	10
13φ・D13	130	65	13

※ 既存鉄筋がフレア溶接長さ(La+L1+Lb)以上露出しない場合は、監督職員に報告すること。

アンカ-筋ピッチ標準



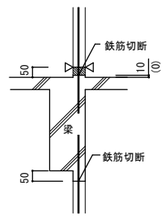
増設部配筋要領



既存壁等撤去要領図　S=1/30

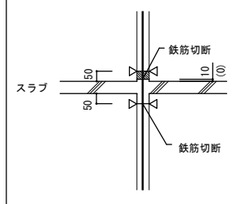
注記）特記なき壁等の撤去は下図による。
注記） ◁1は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。
注記）鉄筋切断面部が最終的に外部露出する箇所は、錆止め塗装を行う。
注記） ▨ は手はつりを示す。

撤去壁-梁 取合部（撤去のみの場合）



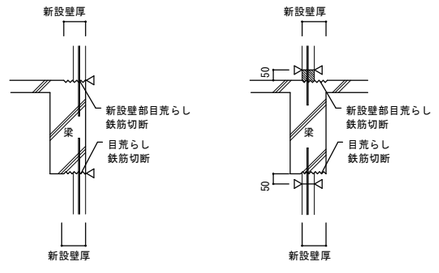
※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-スラブ 取合部

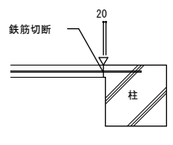


※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-梁 取合部（壁を新設する場合）

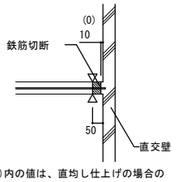


撤去壁-柱 取合部（撤去のみの場合）



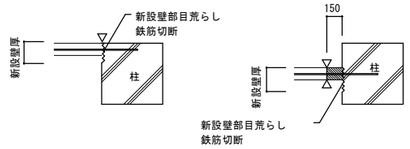
※外気に面する部分の撤去は特記による。

撤去壁-直交壁 取合部



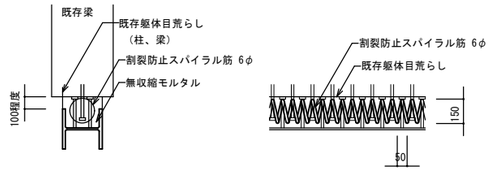
※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-柱 取合部（壁を新設する場合）



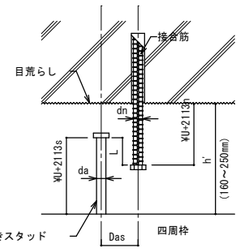
ブレース補強

割裂補強スパイラル筋納まり図



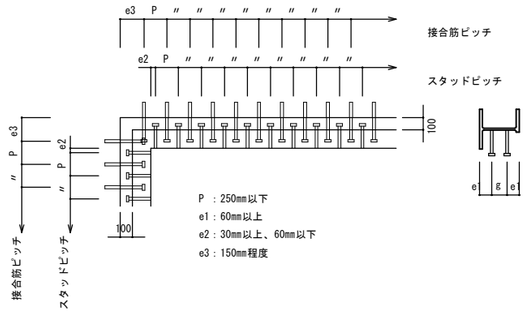
接合筋とスタッドの関係

接合筋とスタッドの標準長さとピッチは下記による。
但し、既存躯体の状況に応じて標準を守れない場合でも
L＞max(¥U+2113n/2,¥U+2113s/2)及び Das≦Lを満足するように
施工を行う事。



da ：スタッド直径
dn ：接合筋直径
h' ：圧入モルタルのせい
¥U+2113n ：接合筋の定着長
¥U+2113s ：スタッドの定着長
L ：スタッドと接合筋のラップ長
Das：スタットと定着筋の間隔

頭付きスタッド詳細(四周枠)



OFFICE ALPHA Design CO.
Amenity Life Planners & Human Architects
アルファ設計株式会社
長野県諏訪郡下諏訪町４６４４－２ Ｎビル
TEL 0266-28-1721 FAX 0266-28-8485
一級建築士事務所登録 （諏訪）G第 54181号
一 級 建 築 士 登 録 第210884号 西村厚志

DATE: R07・03・19

JOB NAME: 下諏訪総合文化センター小ホール及びもみの木モール天井耐震化等改修工事（建築工事）設計図

SHEET TITLE: 耐震改修工事構造特記仕様書補足（２）

SCALE: A1=NON (100%) A3=NON (50%)

DR SIGN:

NUMBER: S-04